

# アジア理学療法フォーラム

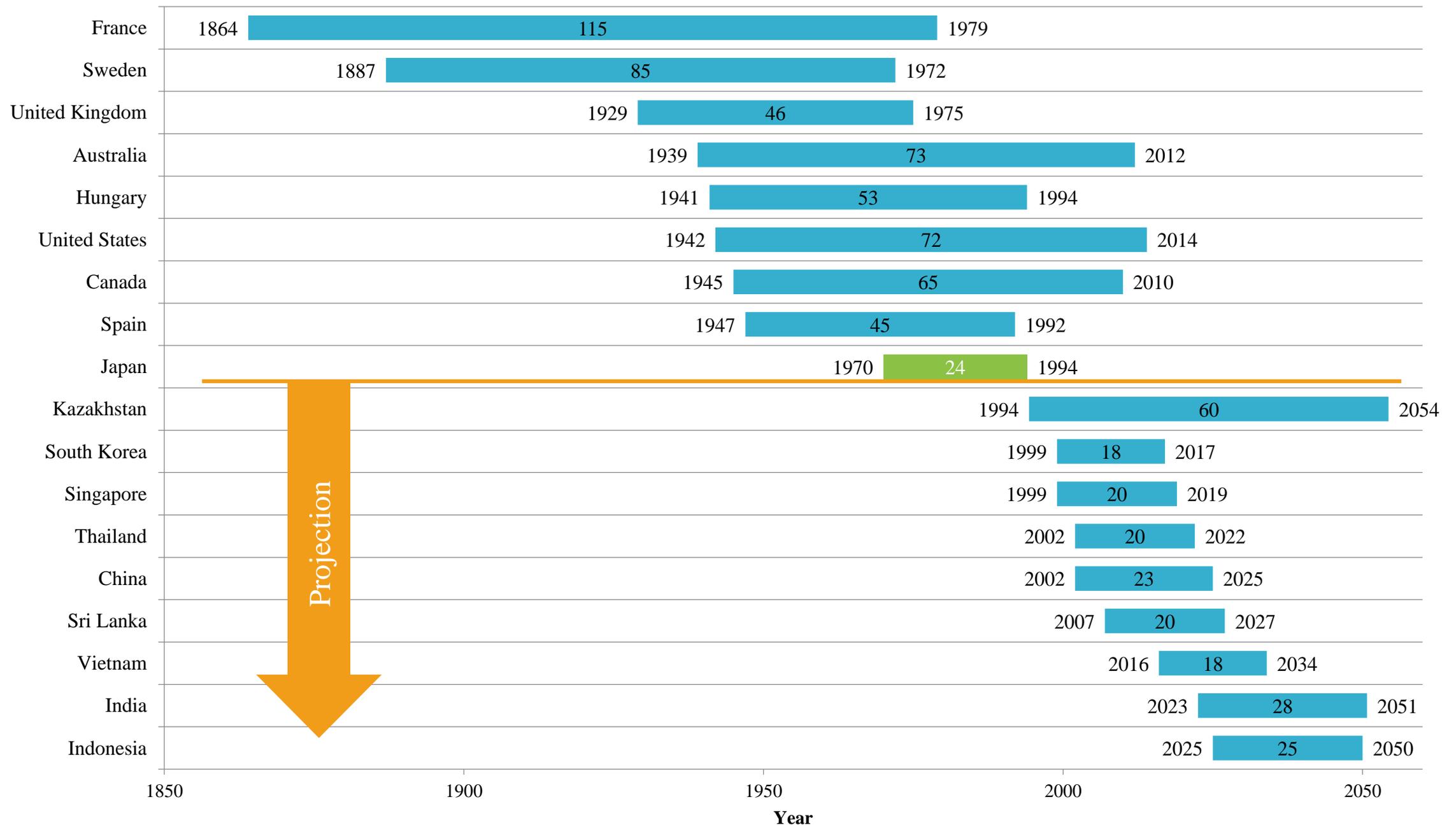
< 2019年9月5日 ヘルスサポート学会 >



国際事業課 伊藤智典

# Speed of aging—

Years required for aging rate to rise from 7% to 14%



Note : The year to the left of the bar designates the year in which the percentage of the population aged 65 and above (aging rate) reached 7%; the number to the right of the bar designates the year when the aging rate attained 14%. The number on the bar designates the years required for that increase.

Source : Hungary by Kinsella and Wan He (2009); Kazakhstan, Vietnam, India, and Indonesia calculated using UN (2015) and others by IPSS (2016)

**目的：急速に進むアジアの高齢化に対し、高齢社会世界一の日本がもつ経験を伝え、各国の理学療法士が当該国における社会課題を支えていただきたい**



# 第1回 アジア理学療法フォーラム

・ **14の国と地域の協会**（香港、モンゴル、台湾、マレーシア、フィリピン、ミャンマー、シンガポール、インドネシア、パキスタン、ネパール、韓国、バングラデシュ、スリランカ、タイ）から **25名の出席**

・ 高齢化の社会課題に対する課題先進国の理学療法士協会として本会は、**高齢社会における理学療法の取組や、先進的な支援機器、リハビリテーション医療・介護**などを紹介した。

・ 理学療法士養成課程が**1~3程度**しか設置されておらず、**6割以上は卒後研修制度等が未整備**であることなど、アジアにおける**職能的な課題を確認した結果、「理学療法・リハビリテーション分野の人材育成」の必要性**が提起された。

・ 共催組織との協議を経て、日本理学療法士協会では今後5年間にかけて、**理学療法・リハビリテーションの臨床実践を促進する高度教育人材・高度臨床人材の育成**を、日本国内外で支援するプロジェクトを実施する運びとなった。

# プログラム

27 <sup>th</sup> September (Wednesday)	
8:40 ~ 9:00	Registration (at Iris, 3rd floor)
9:00 ~ 9:30	Welcome speech and opening lecture
9:30 ~ 10:00	Call for each associations of physical therapy
10:00 ~ 10:10	Guest speech
10:10 ~ 13:50	<p>① Seminar session</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Asia Health and Human Well-Being Initiative</li> <li>Lecture: Case1 Preventive Physical Therapy Epidemiological figure</li> </ul> <p style="text-align: center;">~Lunch time~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Demonstration: Walk Assist Robot</li> </ul>
14:15 ~ 17:00	<p>② H.C.R. site visit (at Tokyo Big Site)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Tour with demonstration</li> <li>Some exhibition booths etc.</li> </ul>
18:00 ~ 20:00	<p>Welcome reception (at Grand Blanc, 21st floor)</p> <p>*Hall will be opened from 17:30~</p>
28 <sup>th</sup> September (Thursday)	
9:00 ~ 10:15	<p>③ Seminar session (at Iris, 3rd floor)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture: Case2 Preventive Physical Therapy Training Program for Silver Rehabilitation Exercise</li> </ul>
10:30 ~ 12:30	<p>④ Discussion</p> <p>*Lunch will be served in this discussion</p>
12:30 ~ 13:00	Closing ceremony





ハラル食で同じ時間を楽しむイスラム系協会の参加者



サイトビジットで国際福祉機器展の見学をしている風景



ラウンドテーブルディスカッション



スクール形式のテーブル上、各国の旗が目印

# 今後の方針について合意されたプロジェクト概要

## 内部資料

### アジアの高齢社会を支える多国籍 理学療法士協会が集う理学療法・リハビリテーション分野における挑戦的 人材育成プロジェクト(案) (Phase 1st)

#### 今後の方針

高齢社会の理学療法の取組や先進的な支援機器、リハビリテーション医療・介護などをアジアへ広く知ってもらうことを目的とし、「**第1回 アジア理学療法フォーラム**」を都内で開催した(平成29年9月)。その結果、「**日本等の医療介護事例を学びあう場の継続**」について合意し、今後アジアでの「**高齢社会に対応する理学療法・リハビリテーション分野の人材育成**」の必要性が提起された。そこで日本理学療法士協会は**今後5年間**をかけて、理学療法・リハビリテーションの臨床実践を促進する高度教育人材・高度臨床人材の育成を、日本国内外で支援するプロジェクトを実施する。

当該プロジェクトを実施するため、本年度は、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本介護支援専門員協会等とともに、アジアにおける官民連携での理学療法・リハビリテーション人材育成にあたっての各国の具体的な課題等を抽出し、プロジェクトの実実施計画の策定に向けた検討を進め、プロジェクト実施に係る関係者への周知・理解促進を図るため、アジアの国・地域の協会代表者及び行政官を招致し、理学療法フォーラムを開催する。次年度以降は、マルチステークホルダーフォーラム等の開催時にリハビリテーション担当行政官を招聘した会議等を併催し、同プロジェクトのPDCAをまわしつつ関連する組織の協力を得ながらフォローを図る。

#### 高齢社会に対応する理学療法・リハビリテーション分野の人材育成プロジェクト(案) 概要

【現状】 昨年のフォーラム参加国の約半数は、理学療法士養成課程が**1～3程度**しか設置されておらず、6割以上は**卒後研修制度等が未整備**であった。

→日本国内で約1年間 (**国内研修**)、現地で一定期間の研修 (**現地研修**) を実施することで、現地養成課程に対して日本式の理学療法、機器・テクノロジーを紹介するとともに、自国における特に高齢者を中心とした保健・医療・介護分野で活躍しうる研修提供体制構築を日本が主導となって支援することで、アジアにおける次世代の理学療法士を育成体制を構築し、UHC実現へ寄与する。その結果、アジア地域の人々の健康や生活の質向上に対して貢献をすることを目的とする。

##### 【導入期】 2018年

<目的> 各国で理学療法・リハビリテーション分野の人材教育、臨床を取り巻く状況に関する実態を明らかにし、組織的枠組みなどを検討する  
<内容> 関係者インタビュー、行政官の理解をえて計画的な活動開始を試みる

##### 【行動計画 作成試行期】 2019～2020年

<目的> 理学療法・リハビリテーションの教育・臨床が行動計画に与える影響等を明確化し、モデル事業を試行する  
<内容> 各国の状況に応じた目標達成に資する教育・臨床実践を確立するための行動計画を作成し内容を比較検討する

##### 【行動計画 実行期】 2021年～

<目的> 計画達成に資する理学療法・リハビリテーション教育・臨床の課題や要因などを明確にする  
<内容> 計画達成に資する教育・臨床を実践、確立するために各国が取り組んだ検討や結果等を比較検討する

概要：国・地域の協会代表者各2名と行政官1名に参加を打診し、1日間で講演3つと協議形式の意見交換会を行う  
開催地：日本（関東近郊）  
来賓：関係議員、内閣官房、経済産業省、厚生労働省、外務省、ERIA、国際交流センター、国際協力機構、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本介護支援専門員協会など  
講演：「アジア健康構想の現状と展望（内閣官房）」、「理学療法・リハビリテーション分野の人材育成（本会）」、「各分野の人材の役割（OT,ST,ケアマネ協会代表者等）」  
視察：理学療法教育施設、地域包括ケア現場など

概要：国・地域の協会代表者各2名と行政官1名に参加を打診し、1日間で意見交換会および具体的な計画を作成する  
開催場所：マルチステークホルダーフォーラム開催国  
来賓：関係議員、内閣官房、経済産業省、厚生労働省、外務省、ERIA、国際交流センター、国際協力機構、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本介護支援専門員協会など  
議題：「人材育成の先事例」、「具体的な進め方と計画立案」

概要：国・地域の協会代表者各2名と行政官1名に参加を打診し、1日間で意見交換会を行い、検討結果や事例紹介などを確認、比較する  
開催場所：マルチステークホルダーフォーラム開催国  
来賓：関係議員、内閣官房、経済産業省、厚生労働省、外務省、ERIA、国際交流センター、国際協力機構、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本介護支援専門員協会など  
議題：「計画の検討および実施結果の確認」、「今後の実施に向けた計画の微修正」

参考：第一回フォーラムに参加を呼掛けた協会の国・地域

台湾、韓国、フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシア、マカオ、香港、ミャンマー、カンボジア、シンガポール、モンゴル、パキスタン、スリランカ、ネパール、バングラデシュ

\*今年はベトナムにも参加を打診

# 第2回 アジア理学療法フォーラム

- **17の国と地域の協会**（香港、モンゴル、台湾、マレーシア、フィリピン、ミャンマー、シンガポール、インドネシア、パキスタン、ネパール、韓国、バングラデシュ、スリランカ、タイ、マカオ、カンボジア、ベトナム）からの代表者1~2名と、理学療法・**リハビリテーション担当行政官、合計46名の出席**
- 内閣官房健康医療戦略室、ERIA（Economic Research Institute for ASEAN and East Asia、日本国際交流センターらと共催、後援、日メコン交流年の認定（外務省）をうけ、関連する国会議員の方々、内閣官房、厚生労働省、経済産業省、文部科学省、日本リハビリテーション学校協会の**挨拶や講演など多数がご出席**
- 2日間にわたる第2回アジア理学療法フォーラムの最終日のラウンドテーブルディスカッションにおいて、**アジア各国の理学療法士が協力し合い、理学療法の発展やサービスの仕組みづくりにつとめ、もって障がいを持つ人々や高齢者を支援すること**趣旨とするアジア地域での協力体制の構築を含む声明が採択

# プログラム

## The 2nd Asian Physical Therapy Forum Timetable

11th, January (FRI)		
9:00	~ 13:00	Optional Tour 1: Preventive care facility for older people in Minato-City, Tokyo
14:00	~ 14:30	Opening and welcome address by President of JPTA
14:30	~ 15:00	Congratulatory address and introduction
15:00	~ 15:15	Photo-taking
15:15	~ 15:45	Keynote Speech Topic: The progress in Asia Health and Well-Being Initiative
16:00	~ 18:00	Symposium Topic: The Present situation of profession education in the field of rehabilitation ① Report from Japanese Association of Occupation Therapists ② Report from Japanese Association of Speak-Language-Hearing Therapists ③ Report from Japanese Physical Therapy Association *Brief introduction from each associations
18:30	~ 21:00	Welcome reception:
12th, January (SAT)		
8:30	~ 10:00	Informative Session Topic: Various human resources development(HRD) cooperation by Japanese physical therapists in Asia Introduction from JPTA's HRD ① HRD Cooperation with Mongol ② HRD Cooperation with Singapore ③ HRD Cooperation with South Korea * And other countries
10:20	~ 12:00	Round table discussion ① HRD in the field of rehabilitation in Asia ② Future cooperation ③ Next meeting
12:00	~ 12:10	Closing and summary of the meeting
12:10	~ 13:00	Lunch Break
13:15	~ 17:00	Optional Tour 2: Accessibility Transportation Trip Odaiba, in Minato-City, Tokyo





担当行政官を含む倍以上の参加者数で会場が満員



介護予防現場の視察と日本の社会保障制度



福祉車両やパラリンピックの機材などを見学



伝統芸能をかけたエクササイズを楽しむ参加者

At the 2nd Asian Physical Therapy Forum,  
we declare the followings;

- 1. We, physical therapists of each country in Asia, will dedicate to the public benefit by progressing physical therapy.*
- 2. Countries where physical therapy well developed are going to cooperate together to support the other Asian countries.*
- 3. Not only for elderlies but also children and adult persons with disability, we will organize the system to provide the sufficient service as an essential role of physical therapy.*

# 展 望

アジア健康構想のもと、本会はアジア理学療法フォーラムをプラットフォームとし、

- ①アジアの理学療法・リハビリテーション人材育成を活性化
- ②当該国の健康課題に即した医療・予防に資する人材育成ができるよう、補完的スキル、利用されうる日本製資機材の活用なども検討する
- ③理学療法を通じて各国の国民の健康に貢献する

報告の機会をいただきまして、誠にありがとうございました